

S		<p>スタート/ゴール東青梅駅 北口タクシー乗場前)</p> <p>東青梅駅スタート/ゴール</p>	<p>15</p> 	<p>大塚山公園 明治百年碑</p> <p>Otsukayama Park/大塚山という立派な名前が付いているけれど、じつは数分で登れてしまう「丘」。子供の遊び場と青梅市民の憩いの場でもある。柵に囲われた山の中央は東京都水道局の敷地。</p>	<p>28</p> 	<p>指田氏別荘跡の石灯籠</p> <p>Stone Lantern of Old Sashida Family Cottage /昭和初期に日本橋で海鮮物雑穀商を営み財をなした青梅市根ヶ布出身の指田氏の別荘跡。今は雑木林に囲まれ庭園の面影はなく、巨大な石灯籠が残るのみ。</p>
5		<p>青梅のものが勢ぞろい!まちの駅 青梅</p> <p>Ome Machi-no-eiki/青梅産の新鮮な野菜や地元のパン屋さんのパン、わさび、地酒「澤乃井」の日本酒、人気のホットマンタオルなど充実したセレクション。お店に入るだけで青梅を観光できてしまう!</p>	<p>17</p> 	<p>十二方角碑</p> <p>12 Direction Stone/十二面それぞれに、その方角にある名所が刻まれている。寛政9年(1797)に建立された碑は安山岩製、頂部が錐(すい)形、十二角の柱状。</p>	<p>31</p> 	<p>第二休憩所で休憩しませんか?</p> <p>Rest Area No. 2/永山公園から遊歩道に入りしばらく歩いた小ピークにある木々に囲まれた休憩所。青梅の森との分岐になっていて、ここから公園敷地を出て奥平林道へと続く。</p>
7		<p>竹田印店</p> <p>Takeda Stamp Store/1930年創業の印章・印鑑専門店。2代目店主は90歳を超えた今でも現役で彫刻刀を握る。彼の筆遣いによって作られるハンコは温かい人柄を感じさせ長く愛用するファンも多い。</p>	<p>19</p> 	<p>根ヶ布一丁目児童遊園</p> <p>Nekabu Children's Park/イエーイ!と滑るならスリルな緑のスライドまたは安心の赤いドカン、どちらを選ぶ?!</p>	<p>36</p> 	<p>青梅の森 三町分岐点</p> <p>Intersection of 3 Towns in Ome Forest/青梅の森内の南北幹線と東西幹線の散策路が交差するところに青梅市の三町が分岐する三町分岐点がある。このマツボックリ山展望台からの絶景は素晴らしい!</p>
9		<p>七兵衛地藏尊</p> <p>裏宿七兵衛は江戸時代に青梅村に実在した義賊だった。後に七兵衛を偲んで建てられた地藏尊には、足の速い七兵衛にあやかり、今でも足腰の健康や交通安全を願う人々が訪れる。</p>	<p>20</p> 	<p>正一久平稲荷神社</p> <p>Kyubei Inari Shrine/1700年代後半に創祀されたと伝えられるお稲荷様。山の中腹のうっそうとした林の中に隠れるように建てられ、鮮やかな赤い鳥居とのコントラストが印象的。</p>	<p>40</p> 	<p>虎柏神社</p> <p>Torakashiwa Shrine/集落を守る小さな鎮守。創建年代など不詳だが、本殿は1700年代の建立で当時の神社建築様式を残す貴重なもの。江戸時代は諏訪明神社と称し、明治維新で虎柏神社と改めた。</p>
11		<p>西分神社のハートストーン</p> <p>Heartstone of Nishibu Shrine/西分神社の階段にさりげなく埋め込まれているかわいいハート型の石を見つけちゃった!探してみてくださいね。</p>	<p>23</p> 	<p>天皇皇后両陛下 植樹の地</p> <p>Memorial Trees planted by Japan's Emperor/全国植樹祭は、戦後の国土緑化運動の一環として毎年4月に全国各地で開催されてきた。その中で昭和23(1948)年、初めて天皇陛下お手植えによる檜の植樹がこの地で行われた。</p>	<p>F</p> 	<p>スタート/ゴール東青梅駅 北口タクシー乗場前)</p> <p>東青梅駅スタート/ゴール</p>
13		<p>お花見スポット、桜見本園地</p> <p>永山公園の入り口の斜面を利用して色々な種類の桜が植えられている。春には白からピンクまで様々な色のグラデーションで見事な花見スポット。</p>	<p>26</p> 	<p>ポップルト、友好の鐘</p> <p>青梅市はワイン産地として知られるドイツのポップルト市と姉妹都市で1965年から半世紀以上交流を深めている。市役所2階には姉妹都市の展示コーナーがあるのでぜひお立寄りを!</p>		